

## 会議録要約

会議の名称	令和7年度第1回八尾市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会
開催日時	令和8年2月12日（木）午後2時～4時
案件	<p>議事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八尾市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の実施状況について</li> <li>・八尾市高齢者実態調査及び在宅介護実態調査について</li> <li>・地域密着型サービスの指定等について</li> <li>・施設整備の状況について</li> </ul>

### 八尾市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の実施状況について

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問介護の給付費増加について、事業所数の増加による競争構造や、一部事業者による過剰なサービス提供が影響している可能性があるのではないか。</li> <li>・ケアマネジャーの業務負担が増大する中で、ケアプランが利用者の意向や自立支援の観点から適切な内容となっているのか、十分な点検が行われているのか。</li> <li>・特に独居高齢者や判断力が低下した利用者において、過剰なサービス利用が生じやすいのではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市では近年、サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームが増加しており、その居住形態の特性上、訪問介護サービスの利用が増加している傾向があることは認識している。</li> <li>・ケアマネジャーは本来、利用者の自立支援を目的としてケアプランを作成する役割を担っているが、同一法人内のサービス利用や業務負担の増加など、制度運用上の課題が生じ得る側面があることについても認識している。</li> <li>・事業所単位でのサービス提供の実態や、いわゆる「囲い込み」がどの程度生じているかについては、現時点で十分な分析ができていないため、今後、データや現場の声を踏まえた整理が必要である。</li> <li>・委員意見を踏まえ、次期計画策定に向けて、給付費増加の要因やサービス提供の実態について、より詳細な分析と検討を進めていく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関と患者との信頼関係が構築されているにもかかわらず、介護側の関与により主治医の変更が一方的に進められる事例があるのではないか。</li> <li>・医療と介護の連携は、患者と医師との信頼関係を前提としたものであり、連携が形式的にならないよう配慮が必要ではないか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療と介護の連携については、三師会や関係機関との連携協議会を設置し、事例検討や情報共有を通じて連携の質の向上を図っている。</li> <li>・委員から指摘のあった事例については、現場での判断や連携のあり方に課題が生じている可能性もあると認識しており、今後、連絡会や多職種連携研修等を通じて、医療・介護双方の理解を深めていく。</li> <li>・引き続き、利用者の意向を尊重しつつ、関係機関が適切に連携できる体制づくりに取り組んでいく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームにおいて、特定の事業者や医療機関に利用が集中する、いわゆる「囲い込み」が生じている可能性がある。</li> <li>・保険料を原資とする介護保険制度の持続可能性の観点から、行政による点検や給付の適正化が重要である。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給付の適正化は保険者として重要な課題であり、これまでもケアプラン点検や指導・監査等を通じて対応してきた。</li> <li>・一方で、実態把握が十分でない部分もあるため、関係者や利用者からの情報提供を含め、実情を把握する仕組みづくりが必要である。</li> <li>・適正化の通報ダイヤルを設置しているので、情報があれば提供して欲しい。</li> <li>・今年度に介護給付適正化プロジェクトチームを設置した。利用者のニーズを考慮せず、選択権が阻害される困り込みに対しても、実態を把握し必要な指導をしていく。行政だけでなく関係機関との連携協力も必要。</li> <li>・委員意見を踏まえ、必要なサービスの確保と給付の適正化の両立を図りながら、次期計画における検討課題として整理していく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人福祉センターの利用状況や、今後の施設のあり方について、施設整備やまちづくりとの関係を踏まえ、利用者の居場所や活動の継続性に配慮が必要ではないか</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人福祉センターの利用状況については、利用者や指定管理者の意見も踏まえながら把握している。</li> <li>・本分科会の議論と外れる点ではあるが、施設のあり方については、まちづくり等の他分野とも関係する事項であることから、今後の検討の参考とする。</li> </ul>
八尾市高齢者実態調査及び在宅介護実態調査について	
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生会議（ACP）やエンディングノートについて、取組が進んでいる一方で、情報が十分に届いていない層があるのではないかと意見があった。</li> <li>・認知症施策や介護予防事業について、参加者が固定化しており、より幅広い層への周知や参加促進が必要ではないかと指摘があった。</li> <li>・独居高齢者や身寄りのない高齢者への支援、意思決定支援や死後事務の課題について、今後の計画に反映すべきとの意見があった。</li> <li>・認知症対応型グループホームは、地域密着型サービスであることから、地域資源の一つとして、積極的に使っていただきたい。</li> <li>・地域組織を活用したような、多様な介護予防事業を考えてほしい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生会議やエンディングノートについては、一定の周知を行ってきたものの、情報が十分に行き届いていない部分があることを認識しており、今後、周知方法や機会の工夫を検討していく。</li> <li>・認知症施策については、次期計画と一体的に認知症施策推進計画を策定する予定であり、認知症に対する地域全体での理解促進や支援のあり方について検討を進めていく。</li> <li>・独居高齢者や身寄りのない高齢者への支援については、高齢分野に限らず関係部署や関係機関と連携しながら、次期計画に向けた課題として整理していく。</li> <li>・認知症対応型グループホームについても、チームオレンジ活動に参画しており、今後も連携しながら、認知症施策を進めていく。</li> </ul>
地域密着型サービスの指定等について	
事務局	地域密着型サービスの指定等について報告を行った。
施設整備の状況について	
事務局	施設整備の状況について報告を行った。